

背巾 14 ミリにしています

ISSN 2187-2589

KANSAI UNIVERSITY
STUDIES IN ENGLISH LINGUISTICS AND LITERATURE

SPECIAL ISSUE
In Memoriam: Ko Ishizaka

No. 3

March 2014

Contents

[Essays]

Dear Ishizaka-san
..... Hideki Akimoto

[Articles]

The Musical Effects of 'the longest sonnet ever made':
An Analysis of 'Spelt from Sibyl's Leaves'
..... Miho Takahashi

Antagonism between Weddel and Vatch: Faulkner's "Mountain Victory"
..... Yoshiro Taniguchi

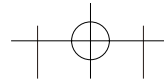
Shakai vs Society: Exploring Divergence in Meaning
..... Mary Goebel Noguchi

Where Affection Turns into Commitment: A Metaphorical Analysis of
Two Words for Love in Japanese Pop Lyrics
..... Itsumi Nakao and KJ Nabeshima

The Literary Devices (1)
..... Yoichi Hoshii

[Distinguished graduate theses]

SOCIETY FOR THE STUDY OF ENGLISH LINGUISTICS AND LITERATURE,
KANSAI UNIVERSITY



英米文学英語学論集

第3号

ISSN 2187-2589

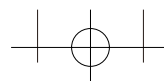
英米文学英語学論集

第3号 March 2014

—石坂恒教授追悼号—

関西大学英米文学英語学会

関西大学英米文学英語学会



ISSN 2187-2589

英米文学英語学論集

第3号 March 2014

— 石坂恒教授追悼号 —

関西大学英米文学英語学会



石 坂 恒 先 生

目 次

石坂さんへ	秋 元 秀 紀……………i
[研究論文]	
「最も長いソネット」を歌う —「シビュラの葉を読んで」の音楽的効果—	高 橋 美 帆……………1
“Mountain Victory” — Weddel と Vatch の反目の行方	谷 口 義 朗……………11
恋と愛 — J-POP の認知メタファー分析—	中尾愛美・鍋島弘治朗……………21
<i>Shakai vs Society:</i> Exploring Divergence in Meaning	Mary Goebel Noguchi……………45
文学の技法 (1)	干 井 洋 一……………55
[優秀卒業論文]	
	2013 年度……………63

〈2013年度 優秀卒業論文〉

〈卒業論文〉

- Bilingualism and Creativity: How Cross-cultural Experience Makes Bilinguals Creative
〈文学部卒業論文優秀者表彰受賞論文集掲載〉 中井 健太
(文10 - 492)
- 文学作品からみる蛇に対するイメージの変化
—他宗教からの影響— 門池 真菜……………65
(文10 - 213)
- 短編小説試論
—視点の効果と内容分析— 清遠 祐介……………101
(文10 - 276)
- 『ドニー・ダーコ』における多様な解釈
—イエス・キリストの寓意— 辻下 貴裕……………118
(文10 - 461)
- 依頼におけるポライトネス
—日本人、イギリス人、ギリシア人を比較して— 西澤 美香……………138
(文10 - 552)
- アルヨことばは中国人キャラの代名詞アル
—役割語とそのサブタイプ— 西 廻 安寿未……………167
(文10 - 559)
- Pride and Prejudice* から見る結婚 畑 佐 有里佳……………192
(文10 - 579)
- 英国ノンセンス文学における一考察
—ルイス・キャロルとエドワード・リアー— 指出 尚枝……………206
(文12 - 3002)
- ジョージ・オーウェル 『1984』
—全体主義による decency の蹂躪— 難波 江利子……………229
(文08 - 704)

付録

日本人大学生の依頼の仕方

関西大学 文学部 総合人文学科
英米文学英語学専修 文 10-0552 西澤 美香

私は卒業論文で「依頼におけるポライトネス」を研究しようと考えています。当アンケートでは、関西大学の学生の方々がどのように依頼を行っているかを分析し、英語と比較するため、重要な参考資料にさせて頂きたいと思っています。お手数おかけしますが、回答にご協力頂けますよう、よろしくお願い致します。ご協力に感謝申し上げます。
※この調査の回答に正解、不正解はなく、個人のお名前が出るようなことはございません。アンケート結果はすべて統計的に処理され、卒業論文以外には使用いたしません。

●該当するところに○をして下さい。

学部 (文・法・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工 学部) 学科 () 学科 ()
学年 (1・2・3・4・院1・院2 回生)
年齢 () 歳 性別 (男・女) 母語 (日本語・英語・その他)

●次の文章を読み、あなたが話し手だと想像してください。それぞれの状況で、あなたはどんなふうに依頼しますか。下線に回答してください。(依頼しない場合は、□に✓を入れ、良ければその理由をお書きください。)

状況1：友人にお金を借りるのを頼む

仲の良い友人の家に訪れている。友人宅でかばんの中を探しているときに財布が無いことに気付いた。もう時間は遅く、タクシーで家に帰らなければならない。お金が必要だ…。(行き道は定期券を使用し、終電がなくなってしまう。)

□依頼しない(理由：)

状況 2 : 近所の人に車に乗せてもらうように頼む

あなたは 5 分後に映画館で友達と待ち合わせをしているが、今家を出るところだ。出かけるときに、近所の人が車を駐車場から出そうとしているのが見える。彼（男性 A さん、歯科医、55 歳）が車を停めて、挨拶をする。あなたはとても乗せてもらいたい…。

（映画館の場所は徒歩 20 分の距離、近所の人との関係は顔見知り程度とする。）

依頼しない（理由： _____ ）

この状況で、父親に車に乗せてもらうように頼む場合、何と言いますか。

依頼しない（理由： _____ ）

状況 3 : 母にコーヒーを作ってもらうのを頼む

あなたは映画を観ている。コーヒーを飲みたいが作りに行ったら 1 番良い場面を見逃してしまうだろう。母親が部屋に入ってくるが、とても忙しそうには見えない…。

（観ている映画は DVD ではなく、放送されていて途中で止められないものとする。）

依頼しない（理由： _____ ）

裏に続く

状況 4：同性の兄/姉にネクタイ/イヤリングを借りるのを頼む

あなたは外出するところで、新しいスーツ/ドレスを着ている。あなたはネクタイ/イヤリングを身につけたいが、自分が持っているものは新しいスーツ/ドレスに似合わないと感じている。あなたの兄/姉は服にとっても合う非常に高価なネクタイ/イヤリングを持っている。(兄/姉がいない場合でも、兄/姉がいると仮定してお書きください。)

依頼しない (理由：)

状況 5：同級生に昼食を一緒に食べに行くように言う

あなたは同級生と図書館にいる。もう少しで昼食時間だ。あなたは非常に空腹である…。

依頼しない (理由：)

この状況で、サークル・部活の先輩 (同性) に頼む場合、何と言いますか。

依頼しない (理由：)

質問は以上です。

この調査に協力して下さった皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

2012 年度 英米文学英語学会会計報告

(2012 年 4 月～2013 年 3 月)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	3,003,740 円	「英米文学英語學論集」1号印刷代	441,000 円
新2年生会費(26名分)	312,000 円	封筒印刷代	15,225 円
特別会費	110,000 円	郵送料	38,495 円
利息	460 円	新2年生歓迎会	39,404 円
		会議費	23,250 円
		図書券代	20,000 円
		雑費(振込料・文具)	3,046 円
		次期繰越金	2,845,780 円
<hr/>		<hr/>	
合 計	3,426,200 円		3,426,200 円

会 計 監 査 報 告

2012 年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

執 筆 者 紹 介

秋 元 秀 紀 (本学教授) 高 橋 美 帆 (本学教授) 谷 口 義 朗 (本学教授)
鍋 島 弘 治 朗 (本学教授) 野 口 メアリー (本学教授) 干 井 洋 一 (本学教授)

査 読 編 集 委 員 会

Fred E.Anderson (本学教授) 高 橋 美 帆 (本学教授) 谷 口 義 朗 (本学教授)
*鍋 島 弘 治 朗 (本学教授) 野 口 メアリー (本学教授) 干 井 洋 一 (本学教授)

* 編集代表

学会開催報告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2013年9月28日(土)13時より関西大学第1学舎5号館 E 601・602にて次のように行われました。詳細は以下のとおりです。

[研究発表]

E601 英米文学

- 吉木謙次郎 (M1) 「キャサリンとヒースクリフの魂の行方：『嵐が丘』再考」 司会 干井洋一
大庭 咲子 (M2) 「ドリアン・グレイの肖像におけるダブル」 司会 高橋美帆
上村 周平 (D1) 「『ゲド戦記』における竜」 司会 谷口義朗

E602 英語学 司会 野口メアリー

- 鍋島弘治朗・上谷明日香 Juicy Peach と Honey Brown — 《女性は食べ物》メタファーについて—
初 晴 (M2) Euphemisms in English, Chinese and Japanese
望月 雄大 (M2) Zeugma 再考—メタファー理論の観点から

[レクチャー] キャンパスの国際化を目指した活動と派遣留学制度について
～関西大学の現状と展望～ 池田佳子¹

[卒論構想発表会]

E 601

- 西谷 美咲 (高橋ゼミ) 「英詩における〈秋〉のテーマ」 司会 野口メアリー
西澤 美香 (野口ゼミ) 「依頼におけるボライトネス」 司会 秋元秀紀
岩尾 咲子 (秋元ゼミ) 知的障害者と健常者のバディ・ムービーにおける構造的特徴
——『二十日鼠と人間』と『レインマン』を比較して—— 司会 高橋美帆

E 602

- 小石原秀樹 (谷口ゼミ) 『オズの魔法使い』——ドロシーの旅—— 司会 干井洋一
尾原大二郎 (石坂ゼミ) 「日本とアメリカの仕事観」 司会 干井洋一
清遠 祐介 (干井ゼミ) 「白い象のような山並み」—読者の役割と視点の効果— 司会 鍋島弘治朗
宮崎 真衣 (鍋島ゼミ) 「俺様だって僕と一緒にの “I” なのだ—児童アニメから見る日英語の役割語—」
司会 谷口義朗

[講演] 「英語の多様性、あるいは非正規的英語と役割語」 講師 金水敏²

¹ 関西大学国際部准教授・国際教育副センター長

² 大阪大学教授 国語学の専門家で役割語の概念で注目を浴びている

【編集後記】

新装第3号になる石坂先生の追悼号が完成した。「美人薄命」というが美しい人だった。無神論者の私だが、この人だけは神に召されてちょっとだけ早く天に呼ばれていったのだという気がしてならない。

『英米文学英語学論集』投稿規定

- 1 投稿資格
本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。
- 2 投稿論文及び翻訳
投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。
- 3 投稿の採否
投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。
- 4 書式上の注意
 - i 注は本文の末尾にまとめる。
 - ii 注のナンバーは肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
 - iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
 - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
 - ② 『MLA英語論文の手引』（第5版）（北星堂）
 - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
 - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
 - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
 - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
 - iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。
- 5 原稿締め切り
原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。

関西大学英米文学英語学会会則

第一条 本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合

人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

第二条 本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

一、機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。

第四条 本会は次の者をもって会員とする。

一、本学文学部総合人文科学科英米文学英語学専修の専任教員。

二、本学文学部総合人文科学科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科

英文学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中に入会希望者。

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。

第五条 本会に次の役員をおく。

一、会長 長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二、副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。

三、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・

会計監査及び広報を担当する。

第六条 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

第七条 会員は会費年額三千円を納入する。但し、第四条第一項に該当する者は年

会費五千円を納入する。

第八条 会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。

第九条 この会則の変更は評議員の議決による。

(会則改正 二〇一四年二月十四日)

英米文学英語学論集 第3号

2014年3月20日発行

編集兼 関西大学英米文学英語学会
発行人

印刷所 石田大成社
〒604-0087 京都市中京区丸太町通小川西入

発行所 関西大学英米文学英語学会
〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

[非売品]